

第7回おのみち100km徒歩の旅  
事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10

(ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)

我が子には秘めた力があると確信しました。私自身が子離れし、自立へと導いてゆく手助けをしていきたい。「声掛け」をぐっと我慢して少しの間見守ってみることを心掛けるようにしています。

何でも私から言うのではなく、自発的にしてくれるのを待つように心掛けるようにしました。子どもの考えや意見を尊重してあげるように気をつけるようにしたい。

本人に任せるようになりしました。頼りないのですがやらせなければならぬことは出来るだけ放っと思っています。

自主性を尊重していきたい。

まだまだ子離れが出来ていないと思いますが、以前よりも子どもの自主性を重んじるようになりしました。

すぐ声掛けていたのを、一拍置くようになりしました。  
「頑張れば出来るよ」という声を掛けると自信がついたのかしています。

本人の意志や考え方をしっかり尊重するようになりしました。  
「なぜ?」「どうすれば?」の会話をするようになった。

感情表現をさせていなかったのは親かもしれません。出来る子なのに知らず知らずお兄ちゃんとは比べ、しっかりしていないイメージで見て、任せることをしていなかったと思います。力を信じてやろうと思います。

辛いことをどんどん経験してほしいと思うようになり、失敗してもそれが成長への一歩だと思えるようになりしました。

何か用事を頼んだときは、子どもに任せ子どものやり方でさせたり、子どもからの話しかけがあった時は耳を傾けるようにしています。

親(私)が子どもの行動を待てるようになった気がします。

いちいち手を出さず、子どもが進んで行動するまで待つようにしています。

合宿の荷物詰めをする時など、任せられるようになった。(少し見守りが出来るようになった???)

何事も今までのように手だし口出しせず、自分で良く考えて自分の力だけできるように見守っています。まだ全然できていませんが。

頑張りをきちんと認めてあげるようになりしました。

特に接し方は変化していません。今まで通り接しています。

口出しをする前に一呼吸置いて、親自身が考えてから話すようになりしました。親の言いなりになることは決して本人の意思ではないということに気がきました。

私も少し離れた所から子どもを見ることが出来るようになりしました。目先の出来ないことばかりに気を取られていたのですが、「信じて待とう」と思えるようにならなくなりました。

あまり変化はありません。これからは家族の中の男手の一人として手伝いとか難しいことでも任せてみようかと思っています。

やれば出来ると100kmに参加して実感できました。子どもの力を信じて生活しています。

今回で一応最後なので「お疲れ様!」とねぎらいました。あとはそんなに変わらず、今まで通りに過ごしています。

当たり前のことですが、自分のことは自分で責任を持って行動できるように過干渉にならないように気をつけています。

自立という視点を以前より重視して接するようになったと思います。

本人がどう考えて動くのかを見守れるようになりしました。

すぐに導いてあげるのではなく、考え悩ます時間をあえて与えることにしました。子どもも子どもなりの答えをぶつけて来てくれ、今まで以上に話す機会も増え、自分の力で意見が言えるようになりとても嬉しく思います。

すぐに手を出さずに、まずは見守ってみようと思心掛けています。

今まで「早くしなさい」が口癖だったような気がします。でもおの100kmから帰って来た息子が「楽しかった。自分で自分のことをするのも頑張った」と言うのを聞いて、私もする前から「早く、早く」と言うのをなるべく考えてから言わないといけな思いました。息子もそれに応えようとしてくれているのが嬉しいです。

第7回おのみち100km徒歩の旅  
事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10

(ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)

「100km歩いた!!」ということで姉も弟のことを認めてくれたようです。弟をバカにすることが減りました。夫も私もどちらかと言うと小さい子供扱いでしたが、一人の人として接するようになりました。

自分でも出来るんだと思うようになった。  
あまり口出ししないようにしなければと思うようになった。

子どもの意見、考え方を最後まで聞いてどうしたいのかを行動するまで我慢するようになりました(少しでも子どもを信用して)。

いつも「早くしなさい」「は出来たの?」と口癖のように言ってきました。戻ってきた我が子を見ていつも親が子を押しつけていたのだと反省しました。

別に今のところはこれと言って変わった点はありません。以前と変わらずです。

当たり前前に生活していることに感謝するよう、又、私自身もそう思えるようになった。

特にありませんが、怒る回数が減ったような気がします。

子どもに対して怒ることが少なくなっていると思います。

少しではあるが、物事を自分で決めて行動するようになりました。

子どもの力を信じる事が出来るようになりました。心配し過ぎていたところ、過保護なところを一步踏み止まる事が出来るようになりました。

妹や弟の面倒を任せられるようになりました。

おの100でかなり親離れた感じがするので、くどくど言わず子どもを信頼して見守る様に気を付けています。少しずつですが自分で考えて行動するようになっていきます。

私が仕事に行っている間は一人ですが、自分で考えて行動して欲しいとの思いから口うるさく声を掛けませんでした。宿題や遊びに行く時などいろいろと自分で気を付けていました。

おの100を頑張ったので我慢強くなるよう接するようになりました。

「勉強しろ」「時間を守れ」という命令から、自主性に任せるように変わってきました。二人兄弟の兄なので、兄の役割も理解させようとしています。

子の子は必ずやれると信じれるようになりました。

子ども達の力を信じて、以前よりも見守れるようになりました。

すぐに手を貸すのではなく、自分で出来るところはさせるよう、待つように気をつけるようになりました。また、子どもがどう考えているのか聞くように、接し方にゆとりを持つように心掛けるようになりました。

出来ることは自分でさせるように、又、自分で考えてさせるように声掛けすることを心掛けるようにしていますが、まだまだ難しいところもあります。

以前よりも少し子どもに任せるところを増やしました。見ていてつい手や口を出したくなることも多いのですが、最後まで取り合えず一人でやらせてみるように親も努力しています。

出来なくてもすぐ親が手、口を出さず、一呼吸置いて子どもに考えさせて行動するようにした。

なるべく黙って見守る様にしています。自分で気付いて片付けてほしいのですが、部屋は散らかってます。

頑張ることが出来る子だと信じていましたが、100km完歩達成し何事も頑張れる子だと確信して接しています。一人っ子で今まで過保護にしていたと思うので気をつけるように心掛けています。

本人がどう考えて動くのかを見守れるようになりました。

今回の参加がないときっと子どもと離れることがこれほど心配なこととは思いませんでした。親が居なくても子どもだけの力で立派にやり遂げられることがあることも実感しました。

家の中でも一つひとつ事細かく口に出して言うのではなく見守って待つことを出来るだけ心掛けています。

すぐに手を出さず、まずは見守ってみようと心掛けています。

今までより家の事を良く手伝ってくれるので色々やらせて(任せて)います。

とてもマイペースな子なので、いつも「早くしなさい」と言うのですが、1回目はグッと我慢して待つように心掛けています。

子どもに決定権を出させる言葉掛けをしたり、子どもを信じられるようになった。

急かすことなく、落ち着いて見るようになりました。本人に任せてするように意識するようになりました。

設問10

(ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)

出来るところは任せる。難しい所は声掛けをする。

3人兄妹の末っ子で、どちらかと言うと知ったふうな顔をする所があるので、「してもらって当たり前じゃん」と生意気なことを言ったりしていました。私はおの100以前にも増して『ここで一言「ありがとう」って言うてくれるといいね』とか『してくれてありがとう』と言うようになりました。

焦らず子どもの声を聞くことを心掛けるようになりました。

親離れ、子離れを意識するようになり、少しずつですが子どもを信じて任せることが出来るようになりました。

なかなか変わらないところもあるのが正直ですが、頑張った経験をさせていただいたことを話をして、「このくらいは大丈夫、おの100歩いたんだからね」とポジティブになれたように思えます。

100kmの時だけでなく、日常生活から自分のことを自分でする、責任を持つよう自主性を持ってほしいので、そのように接している。

今まで以上に自分の出来ることについては見守る様に心掛けています。子離れ頑張り中です。

自分のことは進んで行動するようになったので、あれこれと云わなくなった様に思います。口喧嘩が少なくなったので穏やかです(笑)

過保護過ぎていた自分を見返すことが出来ました。

親として手を出し過ぎず、見守ることが必要なことが分かり、子どもに対して見守ることが出来るようになりました。

1~100までどうしても気になってしまっていて言うてしまう自分が将来子どもをダメにすると気付かせていただいて、言うのを我慢するようになりました。私が言わなくても子どもは出来るものですね…。今までのことを反省しております。

「少し離れたところから子どもを信じて待つ」ことを心掛けるようにしています。

出来るだけ子どもが自発的にやるのを黙って待とう...とは思うようになりました。が、なかなか難しいです...

まず本人の意思を確認して行動するようになりました。約束をして子どもも親もお互いに守ることを心掛けています。

自分で考えて行動さすようにしています。

以前ほど口うるさく言わなくなったと思います。

まだまだ放っておけなくてつい細かく指示してしまいがちですが、子どもに任せるよう、見守るよう心掛けるようになりました。

子ども扱いせず、少しずつ何でも任せてみようと思うようになった。

あれをして、これをして等の指示を全くしなくなりました。

言葉少なく頑張りやの娘に甘えて、弟の世話など良く手伝ってくれてばかりの娘。感謝の気持ちを忘れず、時には一人だけのご褒美をさせてあげたい。

子どもに対して誇りを持てるようになりました。長女ということで「少しはしっかりしている？」くらいの思いでしたが、親が思っている以上にしっかりしていることが分かり、任せることも多くなりました。私以上に見通しを持って行動するようになったので、私が色々たずね、相談しているように思います。

本人の自主性を信じて待つようになりました。夏休みの宿題も本人のやる気に任せてみました。まだ終わっていませんが...

本人の気持ちを重視するよう心掛けていますが、なかなか私自身が成長できていないのもっと子どもを信じて待てる親になりたいです。

以前は上の子に多くを頼っていましたが、おの100後はいろいろなことを任せるようになりました。

少し口を出すのを控え、自分で考えさせるようにしています。